

オウム対策住民協議会ニュース

オウム事件とロシア

—オウム真理教対策住民協議会 第28回学習会要旨—

今回で28回目になる抗議デモと学習会は、晴天の中250名近い地域住民の参加により行われた。抗議デモはひかりの輪の施設まで、シュプレヒコールを行いながら行進し、施設前で抗議文を読み上げた。その後の学習会では、元防衛大学教授瀧澤一郎氏の講演が行われた。
（要旨の内容は瀧澤一郎氏の講演を元に書きました。）

1995年3月オウム真理教が行ったテロ、地下鉄サリン事件の原点となるロシアとの関係が話された。1991年頃、ソ連崩壊後の財政困難の折、日本の政治家の引き合わせでオウム真理教から資金が流れ、ロシアにオウム真理教の支援機関が出来た。ロシアの支援がなかったら、地下鉄サリン事件はなかったと思う。元教祖麻原は信者3000人を引き連れてロシアに渡り、軍事技術の導入や、NBC兵器を学ばせた。その一つがサリンであり、実験見本として製造方法や機械の持ち込みを行った。サリンを作り予行演習として地下鉄にサリンを



ジコン飛行機を大量に買い込んでいた。カルトは一種の病気であり、治る可能性はない。いまだにロシアには数万の残党がいると言われている。皆さんが活動を続けて行くと同時に警戒心が大事であり、オウム真理教の背後に存在するロシアの信者に対する警戒心を持ち続ける事が大切である。



鳥山地域
オウム真理教対策
住民協議会

連載 オウム真理教と闘い続ける⑥ 西尾初江さんに聞く

オウム真理教が鳥山地域へ集団で転入した時から活動する数少ない会員ですが「未だにオウム真理教へ入信する人がいることが信じられない」と語句を強める。確かに、過去に多くの殺人行為を繰り返した集団が、名称を変更して存在することへの違和感、その実態を知りながら入信する信者が絶えないことへの怒りは共感できる。オウム真理教で広報部長をしていた荒木への思いを語るが、目には失望が浮かぶ。荒木の最初の印象は「服装は汚く、精神的にも暗かったが、私たちにお茶を出す一面もあった」と荒木という人物の複雑な人間像を昔を懐かしむ眼差しで語る。荒木が一度は脱会したが、出戻ってしまったことへの悔しさを口にする。その後、荒木の両親から、住民協議会の関係者に感謝の言葉が

寄せられた、という話を語る際には安堵の表情が読み取れた。同時に信者を脱会させることの難しさも滲ませる。活動も13年経過し「住民のオウム真理教への関心が薄れていくことに危機感も感じているが、お祭りやイベントでの募金活動で、若い人たちが住民協議会の活動に興味を示してきている」と話す。「若い母親が子どもに募金をしなさいとお金をわたしてくれた。盆踊りに来る人が、毎年帯にお金を忍ばせ募金をもってきてくれるなど募金活動を通じて、ささやかだが関心が高まって来ている」と語る顔がうれしそう。最後にこれからの活動を聞くと、「地道にコツコツと活動を続けていきます」と、西尾さんらしい、誠実な言葉と人柄を見せてくれた。

平成26年度鳥山地域オウム真理教対策住民協議会総会が、4月17日鳥山総合支所2階会議室にて開催された。

平成26年度鳥山地域オウム真理教対策住民協議会総会が、4月17日鳥山総合支所2階会議室にて開催された。

来賓として世田谷区から、保坂区長が出席。住民協議会は、甲斐会長はじめ会員多数が出席した。総会は甲斐会長の開会挨拶、瀧澤実行委員長の議長選出で議事が始まり、25年度事業・決算・監査の各報告が行われた。事業報告では、13年間の活動継続が鳥山地域の信者の減少となったが、信者が足立区へ移転したことは本意であったことも語られた。監視活動、抗議デモ・学習会など、地域住民が多数参加できる活動形態の重要性が語られ、協議会ニュースの定期発行、会費を支える募金活動、リサイクルバザーなど、多彩な活動が地域住民の支持を得てきたと報告された。事業・決算・監査の報告が全員の拍手で承認され、

平成26年度事業計画・予算案の提案へと議事が進められた。

事業計画では、団体規制法が本年12月末、観察処分が来年1月、ほぼ同時に期限となるため、今年の重点課題として、期間更新に必要な40,000名署名活動が提起された。さらに地域住民による多くのご支援により、監視活動・住民協議会ニュースの発行や、募金活動が継続出来ているなどの意見交換後、事業計画・予算が全員の拍手で承認され総会は終了した。



今年もリサイクルバザーが行われました

4月12日、今年で8回目となるリサイクルバザーが、初夏を思わせる好天の中、大勢の人々が来場して、鳥山区民センター前広場で行われました。お目当ての品物の前に盛り込み、10時開始を待つ光景は毎年の恒例となりました。回を重ねる毎に、品物の寄付は集まるだろうかと、心配していますが、地域住民の皆さんは、オウム真理教対策住民協議会のバザーを、しっかりと覚えていて下さり、前もって行われた物品受付の時は収納する場所がないくらい沢山の品物が届けられました。毎年決まったように、宅配便で送られてくる品物もあります。10時開始と共に、古いお雛様や茶道具箱は、あっという間に買手がつき、近くのコンビニから自宅へ送った送料が、お雛様の価格の3倍もしたという驚きのエピソードもあ

りました。沢山の出会いの中、今年も無事終了です。変わらぬご支援を下さる皆様へ感謝して、売上金はこれからの住民協議会の活動に大切にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。来年も又、よろしく願い申し上げます。当日のバザーの結果をお知らせいたします。バザー売上582,686円 募金30,107円のご協力が寄せられました。



第28回抗議デモ・学習会のアンケート報告

【実施日】 2014年5月10日(土)

【回収枚数】 34枚

【開催情報の入手方法】 協議会ニュース10、チラシ3、
町会自治会回覧15、その他7

【学習会及び協議会活動への感想】

- 先生のお話が興味深く、サリン事件当日の事を思い出しながら拝聴させて頂きました。若い人が参加しやすい何か(表現方法等)がもっと増えたらよいと思いました。
- 昔の事より現状の話を知りたい。
- 噂話・陰謀論の類のように思います。人選を疑います。ねばり強い活動、敬服いたします。解散・解体に至るまで何とかがんばって下さい。当方も出来ることをしていきます。
- とほまもない話におどろいていますが、オウムのロシアでの活動は当時からある程度伝えられていましたので裏付けがとれるか、自分でも調べてみたいと思う。
- デモで回る道も、14年ですっかりきれいになりました。同時に周囲を行きかう親子が、あのサリン事件の記憶が薄い世代となっている事を痛感した。若い世代にカルト宗教の事をしっかり伝えていかなければならない。それが、私達の義務なのですが、その困難さも感じます。
- 初めて聞くことが多かったです。長期にわたる取り組みに対して頭が下がります。この活動が早く終了しますように願っています。
- ロシアとオウムの関係についてよく解りました。理解もまあまあできたと思う。個人名が多く出てきましたが、その中に知人がいました。本当かどうか？心の中の整理がつかない。

第28回抗議デモでの抗議文全文

抗議文

ひかりの輪は7年前、オウム真理教の後継団体アレフより分裂し設立された。2010年にはアレフが足立区へ移転し、現在鳥山地域は少数のひかりの輪信者のみの居住となったが、住民協議会の活動は以前にも増して益々意気軒昂だ。その理由は、地下鉄サリン事件後、連日テレビに出演「地下鉄サリン事件はオウム真理教の仕業ではない」とまくしたて、パネルを投げ捨て大暴れ、その結果ついた呼び名が「ああ言えば上祐」、と言われた人物と対決するというだけで、益々力が湧いてくるからだ。

私たち住民は、上祐史浩をどうしても信用できない。地下鉄サリン事件後、上祐は文書偽造・偽証罪で拘留されたが、出所後の上祐の態度で、一層信用できない人物となった。上祐はアレフの代表となったが、まもなく幹部信者と方向性や意見の相違を理由に、アレフに早々と失望、脱会してしまった。中心を失ったアレフは、それを契機に元教祖麻原彰晃への帰依をさらに強め、神として麻原をあがめる先鋭的な集団へと転落した。アレフをこのような集団にした上祐の責任は重い。上祐は責任を徹底も感じていない。近頃は政治家・映画監督・プロレスラー、果ては新右翼の代表そして評論家、田原総一郎氏との対談や書籍の発行などで、自らの「華麗な変身」を印象づけると共に、身の保身に血道をあげている。さらに上祐は、松本サリン事件の被害者河野義行氏を監査委員に担ぎだし、ひかりの輪の安全をアピール、サリン事件被害者に対しては、すすめの涙ほどの賠償金で正義を振りかざす偽善者へと成り下がった。ひかりの輪のホームページには、脱会したアレフ信者を、ひかりの輪に誘い込むサイトが存在するが、自己中心的なパフォーマンスにも違和感がある。

節操がなく信用も出来ない人物が操るひかりの輪と、麻原を崇拝するアレフに、早期の解散を求める。我々住民協議会は、ひかりの輪・アレフを解散・解体させるまで闘い続けることをここに宣言する。

平成26年5月10日

鳥山地域オウム真理教対策住民協議会
会長 甲斐 円治郎

住民協議会活動報告

4月9日(水) バザー物品受付
4月11日(金) バザー物品値付けと準備
4月12日(土) 第8回リサイクルバザー及び署名活動
4月17日(木) 住民協議会総会
4月21日(月) 協議会ニュース135号初校正

5月1日(木) 協議会ニュース135号再校正
5月7日(水) 事務局会議
5月10日(土) 第28回抗議デモ・学習会
5月12日(月) 協議会ニュース135号 全区版発行
5月18日(日) 鳥山駅前署名活動

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。